

農林水産省生産局

局長 水田 正和 殿

豚コレラ被害拡大防止に関する要請書

昨年9月から岐阜県、愛知県、三重県等で続発している豚コレラは、新たに福井県へと発生地域が拡大し、終息の目途がまったく立っていません。また、野生イノシシで豚コレラ感染が確認される地域も急速に拡大を続けています。日々、発生の恐怖に直面している生産者の心情を察すると、今こそ、ワクチン接種を含めた実効性のある対策への転換により、被害の拡大を防止すべき時期に来ています。

JPPA では、今般、改めて全国の会員の意思を確認し、多数の支持を得た上で、以下の点に要望を集約いたしました。当会として、「地域限定、期間限定での予防的ワクチン接種の検討」を要請する目的は、生産者及び関係者が国と一体となり、長い時間をかけて達成し、維持してきた「豚コレラ清浄国」というステータスを、今後とも守っていく、若しくは、一時的にステータスが停止されたとしても、できるだけ早期に復帰できるようにとの考えからであり、国の方針とも思いを一つにするものです。

以上のことから、当局におかれましては、以下の点につき、早急な対応を図られますよう強く要請いたします。

記

1. 地域限定での飼養豚への予防的ワクチンの接種を検討すること。
2. 飼養豚への当該ワクチンの接種は、野生イノシシについての豚コレラが清浄化するまでの間、継続すること。
3. ワクチンを接種した豚・豚肉については、円滑な流通が図られるよう配慮すること。

2019年8月1日
一般社団法人 日本養豚協会(JPPA)
会長 香川 雅彦

農林水産省消費安全局

局長 新井 ゆたか 殿

豚コレラ被害拡大防止に関する要請書

昨年9月から岐阜県、愛知県、三重県等で続発している豚コレラは、新たに福井県へと発生地域が拡大し、終息の目途がまったく立っていません。また、野生イノシシで豚コレラ感染が確認される地域も急速に拡大を続けています。日々、発生の恐怖に直面している生産者の心情を察すると、今こそ、ワクチン接種を含めた実効性のある対策への転換により、被害の拡大を防止すべき時期にきています。

JPPA では、今般、改めて全国の会員の意思を確認し、多数の支持を得た上で、以下の点に要望を集約いたしました。当会として、「地域限定、期間限定での予防的ワクチン接種の検討」を要請する目的は、生産者及び関係者が国と一体となり、長い時間をかけて達成し、維持してきた「豚コレラ清浄国」というステータスを、今後とも守っていく、若しくは、一時的にステータスが停止されたとしても、できるだけ早期に復帰できるようにとの考えからであり、国の方針とも思いを一つにするものです。

以上のことから、当局におかれましては、以下の点につき、早急な対応を図られますよう強く要請いたします。

記

1. 地域限定での飼養豚への予防的ワクチンの接種を検討すること。
2. 飼養豚への当該ワクチンの接種は、野生イノシシについての豚コレラが清浄化するまでの間、継続すること。
3. ワクチンを接種した豚・豚肉については、円滑な流通が図られるよう配慮すること。

2019年8月1日
一般社団法人 日本養豚協会(JPPA)
会長 香川 雅彦